苫工同窓会

発行
苫工同窓会本部
幹事長　紺屋　隆
苫小牧市高丘6－22
TEL0144－37－3088

平成二十七年度 定期総会開催

平成二十七年度定期総会が五月三十日（土）、グランドホテルニュー王子において八十余名の出席のもと開催されました。

田中会長より「苫工への帰属意識を持ち、後に続く後輩のためにも同窓会をより活性化させたい」、本年度の運営方針を含めて挨拶がありました。

続いて、猪瀬校長より卒業生の進路傾向、本年度の部活動大会成績等、学校の状況について報告があり、併せて日ごろの同窓会からの支援に感謝のことばがありました。

引き続き事務局より報告事項、協議事項の説明があり、原案通り承認されました。

感謝状の贈呈

同窓会発展に功労のありました次の方に感謝状と記念品の贈呈がありました。

・山本　晃久　様
支部長歴任
（札幌市役所支部）

懇親会

総会後、同会場において懇親会が行われました。

この懇親会は四月に着任された馬道淳一定時制教頭・児玉俊一事務長の歓迎会も兼ねていますので、お二人から挨拶をいただきました。

つづいて、四月の苫小牧市議会議員選挙で初当選した首藤孝治氏（土木平成5年卒）、岩田　薫氏（土木昭和52年卒）の二氏より挨拶がありました。

両氏とも五月の苫工PTA総会で首藤氏は会長に、また岩田氏は副会長に選出されました。今後、同窓会とタイアップして母校の更なる発展に若さを前面に全力投球してくれるものと期待します。

乾杯は前会長・顧問の岩本靖雄氏の発声で開宴。

懇親会では、恒例となっています各支部の状況報告がありました。遠方の関東六華会からは石堂会長、松田幹事の二名の参加がありました。

後半、小林酒造の協力で抽選会が行われました。

この他に今年も早来支部より名産のカマンベールチーズセットの寄贈があり、抽選が続行されました。

校歌斉唱・万歳三唱

恒例の校歌斉唱は、昨年までのリーダー（同窓生・苫工教員）が転勤してしまい、急遽、本部副会長、鈴木忠康氏（土33）に依頼。さすが苫工在学中は応援団長だっただけにその技術は60年近く経った今も衰えず力強いエールに出席者全員が圧倒されたようです。

締めは元副会長の平井義氏（応化17）により万歳三唱。90歳を超えたとは到底思えない溌剌とした姿に会場から拍手が湧きました。来年の再会を約し散会となりました。

「苫工同窓会総会」を振り返って

副会長　鈴木忠康

平成27年度の「苫工同窓会総会」が去る5月30日、グランドホテルニュー王子（若草の間）で開催され、猪瀬校長先生、関東六華会石堂会長、各支部からは、苫工第17回卒業の大先輩を始め会員多数の出席のもと、事務局から提案された本年度の事業計画、収支予算も原案通り可決されました。今後は会員各位のご理解とご協力をいただき本事業が計画通り運営すべく努める所存であります。

総会終了後の懇親会ではいつも通りの会員同志の交流が始まり、中には何十年振りかの再会、元気の確認、酒席の場とは言え顔を真っ赤にして大声で笑う者、在校時代を思い出し当時の先生をアダ名で呼び楽しかった昔話に華を咲かせたひと時でした。

私事ですが、昨年副会長に就任した時、本部事務局から、近年は同窓会員及び総会出席者が減少していると伺い心配していましたが、例年通りの出席者での開催、安心した次第です。

私の取り越し苦労のようでした。

田中会長と相談、土33回の仲間には、同窓会総会とクラス会を兼ねた計画を立て案内したところ六名の参加があり、少しばかり満足しており、来年も実施する予定です。

懇親会もお開きに近づき私にとって今迄呑んでいた酒もフッ飛ぶ大役が廻って来たのです。紺屋幹事長からの締めの苫工校歌のリーダー指名です。

私も76歳を過ぎた後期高齢者、更に60年前に戻っての真似事、曲がりなりにも役目を果たせましたが、血圧が上がったせいか終わってからガックリきたのは事実であります。

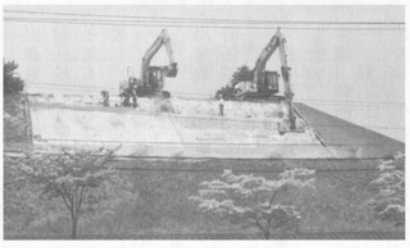
お陰様で総会・懇親会も盛会裡に終了出来ましたことに感謝申し上げます。

例年ですとここで解散となるところですが、今年は会員の要望もあり、二次会が計画され、約30名の参加がありました。総会と違って席順もなく誰となく隣合わせに座り焼酎の水割りを飲みながらの談笑。マイクを持ったら離さないでカラオケ自慢の者、和気藹々の90分でした。

別れ際にはお互いの健康と来年の再会を約束し、楽しかった一日が終了しました。

今後とも充実した同窓会確立のためにも会員各位の限りないお力添えとご多幸、ご健勝をご祈念申し上げ総会のご報告といたします。

校地法面復旧工事始まる（苫工事務室）



平成26年9月11日の一時間に100㎜を超える集中豪雨を受けての法面崩落は大きなニュースとなり、同窓会の皆様には多大なご心配をお掛けしたことと思います。

崩落以降、仮復旧工事や日常の点検により、再度の崩落・被害が出ないように注意を払ってまいりました。

4月中旬に国の補助を受けて、同窓生も多く勤務している㈱ミヤケンの施工により本復旧の工事が始まったところです。

工事の内容は、崩落の激しかった西側2箇所と小規模な浸食が見られる西側及び南側の5箇所について掘削、盛土（普通土）し、排水が効果的になるように排水材を布設します。その後強度を十分確保して法面を整形、芝を張り、法面を復旧します。

復旧工事は7月上旬には完成しますが、二度とこのような災害が起きないように、学校としても日常的な確認・点検等を実施しながら、注意を払って行きたいと思います。

如昔会

苫工の旧職員で退職者を対象とした親睦会があります。名称は如昔会（110名）といい、毎年苫小牧で親睦会を開催しています。今年も6月6日に開催、三十数名の参加があり、遠くは北見からも来られました。

転勤で多くの学校を経験しながら、苫工が一番思い出深いと揃って話します。

生徒共々自由闊達な苫工の校風が自分の力を存分に発揮させ、充実した教員生活が送れたからではないかと思います。

母校愛、苫工愛は同窓生のみならず、旧職員も卒業生に劣らない強い愛着を持っていることを如昔会の交流で感じることが多くあります。

同窓会活動を通じ、母校の発展のために、それぞれの立場でお力添えをお願いします。

（事務局）

総会スナップ

田中会長挨拶

懇親会

全員で校歌斉唱